

琉球泡盛海外輸出プロジェクト

目的

琉球泡盛の海外展開を促進するため、官民の関係者一体となった取組を推進
 (目標値) 平成32年(2020年)70キロリットル、平成34年(2022年)100キロリットル
 現状(平成29年(2017年))29キロリットル

構成

目的に賛同する関係団体、地方公共団体、関係府省などで構成

【顧問】 宮腰光寛 内閣総理大臣補佐官
 【会長】 小泉武夫 東京農業大学名誉教授
 【副会長】 佐久本学 沖縄県酒造組合会長
 【会員】

(関係団体等)

沖縄県酒造組合、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県商工会連合会、
 沖縄県商工会議所連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県ホテル協会、沖縄観光コンベンションビューロー、
 泡盛マイスター協会、日本ソムリエ協会、沖縄県物産公社、沖縄振興開発金融公庫 ほか

(地方公共団体・関係府省)

沖縄県、内閣府、国税庁、内閣官房、外務省、農水省、観光庁、JETRO

取組内容

- ・行動計画(平成30年3月7日)に基づき、プロジェクト会員(個人・団体)が、「訪日外国人」と「海外市場」の2つの視点から、6分野53の取組を実施
- ・プロジェクト会合を開催し、会員相互の取組について情報交換

具体的な関連プロジェクトの例

- ・欧米・アジアでのモデル事業の実施を通じて、泡盛酒造所の販路拡大に向けた事例共有(内閣府)
- ・在外公館等において、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRの実施(外務省)
- ・「島酒フェスタ」による地域DMOとの連携した酒蔵ツーリズムの取組(沖縄県酒造組合) など。

これまでの取組

- 4月13日：第1回プロジェクト会合を開催
- 14日：プロジェクト設立記念イベントを開催
(第1回島酒フェスタ(沖縄セルラーパーク那覇で開催))
- 8月10日：第2回プロジェクト会合を開催

沖縄酒類製造業の自立的経営促進事業（沖縄振興局）

趣旨・目的

泡盛製造業は、沖縄県の貴重な地場産業として雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしているが、近年出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれている。

このため、政府としては、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、まずは2020年までに泡盛の輸出量を倍増させることを目標に、関係団体、関係府省庁による官民一体となった取組を推進している。

本事業では、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）等も踏まえ、泡盛酒造所が行う海外展開等の取組を後押しし、もって泡盛酒造所の自立的経営を促進する。

概要

(1) 事業内容

海外への販路開拓などに向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。

(2) 平成31年度概算要求額 : 112百万円
(平成30年度予算額 : 33百万円)

(3) 委託先: 民間企業(泡盛酒造所等)

(4) 調査期間: 平成30年度～